

第27回全国菓子大博覧会・三重 開催概要

平成28年8月1日現在

第27回全国菓子大博覧会・三重実行委員会

- 大会名称 第27回全国菓子大博覧会・三重
- 大会愛称 お伊勢さん菓子博2017
- テーマ お菓子がつなぐ「おもてなし」を世界へ
- 開催期間 平成29年4月21日（金）～5月14日（日） 24日間
- 開場時間 10時00分～18時00分（但し、最終日は17時迄）
- 開催場所 三重県営サンアリーナ及びその周辺約10ha
（三重県伊勢市朝熊町字鴨谷4383-4他）
- 開催方針
 - ① 伊勢神宮の門前町として育んできた「おもてなし」を体感できる博覧会とする
 - ② 三重県の菓子業界のポテンシャルの高さを感じられる博覧会とする
 - ③ お菓子文化を通じて、県内外の方々、世界各国の方々との交流を図ると共に、日本の菓子文化を世界に発信する博覧会とする
 - ④ 次代を担う子供たちが「夢」「希望」、そして「感動」を感じられる博覧会とする
 - ⑤ 菓子文化及び技術の継承・発展を図ると共に、お菓子を通じて「食」に対する感謝を体感できる博覧会とする
 - ⑥ 菓子のみならず、三重の「海の幸」・「山の幸」を食することを通して広く三重県の食文化を体感できる博覧会とする
 - ⑦ 食に関する諸法規を遵守し、食品衛生の向上を図る博覧会とする
 - ⑧ バリアフリーに十分に配慮した博覧会とする
- 目標入場者数 60万人
- 事業予算 15.5億円（予定額）

■ 会場イメージ



(県営サンアリーナ周辺)

● 全国菓子大博覧会とは

全国菓子大博覧会は、お菓子の歴史と文化を後世に伝えるとともに、菓子業界、関連産業の振興と開催地域の活性化に役立てるため、ほぼ4年に1度、全国各地で開催されている日本最大のお菓子の祭典です。

この博覧会は、明治44年（1911年）に東京で開催された「第1回帝国菓子飴大品評会」が始まりで、戦争による一時中断はありましたが、全国のお菓子屋さんの熱意で復活し、これまで26回の開催を重ねてきました。三重での開催は初めてとなります。

■ シンボルマーク・ロゴマーク及び公式キャラクター

シンボルマーク・ロゴマーク



いせわんこ



お伊勢さん菓子博 2017

27th National Confectionary Exposition in Mie

以上